



提供：高知新聞社



提供：四万十市立図書館



提供：四万十市立図書館

中村線50年のあゆみ

～地域みなさまとともに50年～

中村線は、おかげさまで

2020（令和2）年10月1日に開業50周年を迎えます。

みなさまの「思い出」とともに、たくさんの“ありがとう”を乗せて次の50年へ



THANK YOU FOR YOUR LOVE.
NAKAMURA-LINE IS 50TH ANNIVERSARY.
SINCE 1970



土佐くろしお鉄道株式会社



ごあいさつ

幡多地域の悲願であった中村線は、構想から半世紀の時を経て、1970（昭和45）年10月1日に土佐佐賀～中村間が開通し全線開通となりました。

以降、幾多の危難を乗り越え、日本国有鉄道から四国旅客鉄道（JR四国）、土佐くろしお鉄道へと継承されてきました。以来、今日に至るまで、ご利用のお客様の思い出と共に年を重ね、生活路線としても観光の動脈としても大きな役割を担い、地域の発展に寄与してまいりました。

これもひとえに、ご利用のお客様をはじめ、地域の皆様や関係各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

このたび、全線開業50周年を記念して、先人の情熱と労苦に敬意を表し、中村線半世紀の歩みを思い出の写真と共に今一度振り返っていただきたいとの思いから、「中村線50年のあゆみ」を発行することといたしました。

高速道路の延伸、少子化等による沿線人口の減少や2020年に発生した新型コロナウイルスの感染拡大など、地方鉄道を取り巻く環境は厳しい状況が続くと予想されますが、次の世代につながるように、これからも「安全・安心輸送」「サービス向上」に全力で取り組み、地域の皆様をはじめ、たくさんのお客様にご満足いただくため、社員一丸となって努力してまいります。

この50年間に賜りましたご厚情に対して厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

土佐くろしお鉄道株式会社
代表取締役社長 金谷 正文



経営理念

地域を人をつなぎ、愛される存在になります。

経営ビジョン

1. 安全輸送の確保を何よりも優先します。
2. お客様の笑顔のために心をこめたサービスを提供します。
3. 社員が誇りと働きがいを持てる組織の実現を目指します。



中村線・土佐くろしお鉄道の歴史

～日本国有鉄道時代から土佐くろしお鉄道時代のおもな出来事～

1963 (昭和38) 年 12月	国鉄中村線、窪川～土佐佐賀間開業	 1 1970 (昭和45) 年10月 国鉄中村線 土佐佐賀～中村駅間全線開業
1965 (昭和40) 年 3月	阿佐線（ごめん・なはり線）工事実施計画。 運輸大臣工事着手	
1970 (昭和45) 年 10月	国鉄中村線、土佐佐賀～中村間全線開業 1	
1974 (昭和49) 年 2月	国鉄宿毛線工事着手	 2 1986 (昭和61) 年5月 土佐くろしお鉄道株式会社創立
1981 (昭和56) 年 10～12月	宿毛線、阿佐線工事中断	
1986 (昭和61) 年 2月	高知県・沿線首長会議にて、阿佐線・宿毛線を 一本化した第三セクター鉄道会社設立合意	
1986 (昭和61) 年 4月	日本国有鉄道経営再建促進特別措置法により、 中村線を第3次廃止対象特定地方交通線に選定	 3 1988 (昭和63) 年4月 土佐くろしお鉄道開業 提供：高知新聞社
1986 (昭和61) 年 5月	土佐くろしお鉄道株式会社創立、登記完了 2 運輸大臣、中村線を特定地方交通線として承認	
1986 (昭和61) 年 11月	第一回臨時株主総会開催。中村線廃止後に地方鉄道と しての運営を会社で引き受けることを決定	
1987 (昭和62) 年 2～3月	宿毛線、土佐くろしお鉄道として鉄道事業免許取得。 工事再開	 4 1997 (平成9) 年10月 宿毛線開業
1987 (昭和62) 年 4月	中村線、国鉄からJR四国に移管	
1987 (昭和62) 年 12月	中村線、土佐くろしお鉄道として鉄道事業免許取得	
1988 (昭和63) 年 1～3月	阿佐線、土佐くろしお鉄道として鉄道事業免許取得。 工事再開	 5 2002 (平成14) 年7月 ごめん・なはり線 (阿佐線) 開業
1988 (昭和63) 年 4月	中村線、JR四国から経営移管、営業開始 3 瀬戸大橋線開通により岡山駅まで直通運転開始	
1990 (平成2) 年 5月	土佐くろしおトラベル（旅行会社）事業開始	
1990 (平成2) 年 11月	2000系振り子式特急気動車導入、速度向上により 岡山・高松方面への大幅な時間短縮実現	 6 2010 (平成22) 年3月 中村駅リノベーション完成
1993 (平成5) 年 10月	中村線、佐賀公園駅開業	
1996 (平成8) 年 12月	中村駅にCTCセンター開設	
1997 (平成9) 年 10月	宿毛線開業。中村～宿毛間は最速17分に短縮 4	
2002 (平成14) 年 7月	ごめん・なはり線（阿佐線）開業、営業開始 5	
2003 (平成15) 年 4月	中村線、海の王迎駅開業	
2010 (平成22) 年 3月	中村駅リノベーション完成、国内外から高評価される。 ブルネル賞、日本鉄道賞など受賞多数 6	
2016 (平成28) 年 3月	中村・宿毛線の愛称「四万十くろしおライン」使用開始	

写真で見る 中村線の50年

1970（昭和45）年10月1日直前

中村線全線開業を間近に控え着々と準備が進む

1970（昭和45）年10月1日の開業に向けて中村駅や中村駅前の整備工事が進められ、乗務員の習熟のため試運転が開始されました。



開業に向け工事の進む中村駅



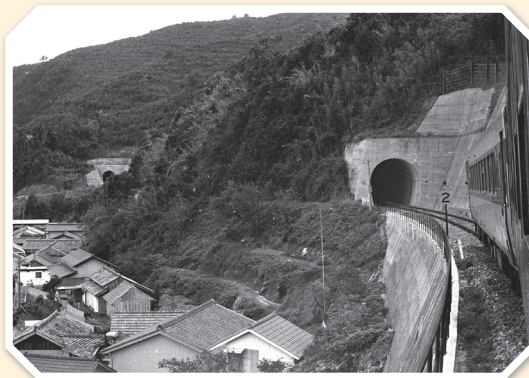
駅前広場の整備が進められている



完成直前の中村駅ホーム



工事中の中村駅より出発する試運転列車



連続するトンネルを進む

全線開業に向けて万全の準備が整えられました。



中村～土佐入野間で行われた試運転ダイヤ

1970（昭和45）年10月1日 日本国有鉄道中村線、土佐佐賀～中村間開業 中村線全線開通の頃



開業初日の中村駅の様子。
中村駅周辺は開通を祝う人波で埋まりました



中村駅駅名標

1963（昭和38）年12月18日に窪川～土佐佐賀間が開通した中村線は、1970（昭和45）年10月1日に土佐佐賀～中村間開業により全線開業しました。当時の国鉄四国総局は「さらに近くなった足摺」をキャッチフレーズに観光誘致を実施。貨物取扱も農産物、林産物、水産物を中心に輸送し地域産業の発展にも大きな役割を果たしました。



多くのお客さまでにぎわう
開業初日の中村駅



開業初日を伝える新聞記事
提供：高知新聞社



歓迎ムードに沸く中村駅の駅前通り



中村駅での出発式の様子。駅構内にはたくさんの市民が詰めかけた
提供：高知新聞社



沿線では地元の方々が旗を振って歓迎した

中村線の全線開業により、土佐佐賀～中村間の所要時間は急行列車で上り22分、下り20分。高知～中村間の最も早い急行は、上り2時間9分、下り2時間6分で結ぶこととなりました。



土佐上川口駅名標
東大方駅は1982(昭和57)年11月15日に有井川駅に改称された

1972（昭和47）年3月15日

日本国有鉄道山陽新幹線、新大阪～岡山間開業
四国特急「南風」デビュー

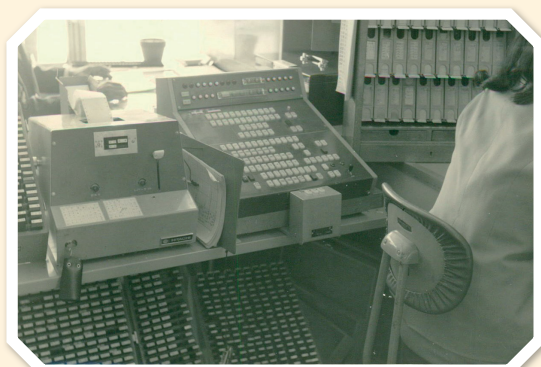


手旗が振られ関係者らに見送られる
四国特急「南風」

1972（昭和47）年3月15日のダイヤ改正により山陽新幹線、新大阪～岡山間の開業にあわせて高松～中村間に特急「南風」がデビューしました。1974（昭和49）年4月1日には中村駅構内にC11形蒸気機関車と客車2両を改造した全国初のSLホテルが開業し話題となりました。



中村駅の改札口はたくさんのお客様が詰めかけた



プッシュボタン式の出札端末が
導入されていた窓口



1974（昭和49）年4月1日、中村駅
構内にオープンしたSLホテル



1980年代に入り第3次特定地方交通線となった中村線は第三セクターを設立して地方鉄道として維持、存続を図ることを目指しました。

大勢の子供で賑わう
SLホテル

1986（昭和61）年5月8日 土佐くろしお鉄道設立

1987（昭和62）年4月1日 国鉄分割・民営化に伴い四国旅客鉄道に継承

1988（昭和63）年4月1日 土佐くろしお鉄道営業開始

1986（昭和61）年5月8日、土佐くろしお鉄道が設立され、1988（昭和63）年4月1日、営業を開始しました。

【土佐くろしお鉄道設立】



1986(昭和61)年5月1日、
土佐くろしお鉄道創立総会を開催



1986(昭和61)年5月8日、
土佐くろしお鉄道設立



1988（昭和63）年3月31日、
「さようなら中村線」出発式が
行われた

瀬戸大橋線開業にあわせてＪＲ特急列車3本(上り2本、下り1本)が岡山～中村間の直通運転を開始。同区間を4時間56分で結び、宇高連絡船経由より約1時間30分の短縮となりました。



1988(昭和63)年4月10日、
高松駅で行われた瀬戸大橋線
開通記念出発式

【土佐くろしお鉄道営業開始後】



1988（昭和63）年4月1日、土佐くろしお鉄道営業開始当日、中村駅では出発式が行われた 提供：高知新聞社



1990(平成2)年11月21日、中村駅では岡山に乗り入れる土佐くろしお鉄道車両2000系南風の出発式が開催された



1988（昭和63）年2月22日付 提供：高知新聞社



1988（昭和63）年4月1日付 提供：高知新聞社

【土佐くろしお鉄道開業を伝える新聞記事】

【宿毛線開業】

1997（平成9）年10月1日、宿毛線が開業。四国の高速化時代に合わせて、設計最高速度が120km/hに設定されました。



1997(平成9)年10月1日、宿毛駅では開業列車の出発式が開催された



宿毛駅の改札は大勢のお客さまで賑わった



太平洋の海をイメージした宿毛駅

【ごめん・なはり線開業】

2002（平成14）年7月1日、ごめん・なはり線（阿佐線）が開業。高知県東部の基幹生活路線として、地域振興や観光誘致などに期待が集まりました。

開業時には快速列車が1日16本設定され、後免～奈半利間を最速50分で結びました。



2002(平成14)年7月1日、安芸駅で関係者らが出席して開かれた、ごめん・なはり線列車出発式



出発式の終了後、市内ホテルでしゅん功開業式・同祝賀会が行われた



鉄道橋として初めてトラスダンガー橋が採用された第1手結架道橋

2016（平成28）年3月より中村線・宿毛線の愛称を四万十くろしおラインとして使用を開始しました。



浮鞆駅に停車している
TKT-8000形車両



松田川を渡る列車

列車の移り変わり

国鉄時代の車両から
現在活躍する車両まで紹介します

特急車両



キハ181系「南風」



キハ185系「南風」
JR発足後、コーポレートカラーを使用した塗色に変更された



2000系 1990（平成2）年導入



2000系アンパンマン列車（ピンク）
2001（平成13）年3月登場



2000系アンパンマン列車（オレンジ）
2009（平成21）年10月リニューアル



2700系 2020年新型車両導入

急行車両



キハ58
「あしずり」



キハ58「あしずり」
JR発足後、コーポレートカラーを使用した塗色に変更された

普通列車



キハ32



TKT-8000形
トンボ車両 土佐
くろしお鉄道開業
にあわせて製造
されました

市町村ラッピング車両（TKT-8000形）

沿線7市町村の地域発展を願い、ラッピングされました



四万十市



宿毛市



土佐清水市



四万十町



黒潮町



大月町



三原村



だるま夕日号

駅の移り変わり

中村駅のリノベーション
2010（平成22）年3月完成

中村駅は、国鉄時代の1970（昭和45）年に建築された駅舎の壁や天井などの構造は変更せず、待合室や売店、改札口、ホームを中心に改装工事を実施し、四万十産のヒノキをふんだんに使用した駅舎に生まれ変わりました。

待合室に、ヒノキのテーブルを設置するなど、学生のお客さまが待ち時間を有効に活用できる空間を確保するとともに、改札口を廃止して駅内外を自由に行き来できるようにすることで、駅そのものが開放的な公共空間となっています。

中村駅リノベーションは、鉄道関連では唯一の国際デザインコンペであるブルネル賞2014優秀賞に輝くなど、多くのデザイン賞を受賞しています。



四万十産のヒノキで囲まれた開放的な待合室



開業の中村駅



構造の変更は行われなかったが
イメージを一新した駅舎



開業の頃の改札口の様子



改札口が廃止された駅舎内

新駅

土佐くろしお鉄道開業後、新しく駅が生まれました。



1988（昭和63）年土佐くろしお鉄道開業と同時に
開業した古津賀駅



1993（平成5）年に開業した佐賀公園駅



2003（平成15）年に周辺にお住まいのお客さま
の利便性向上にむけ開業した海の王迎駅

お客さまに楽しんでいただくイベントなどの取り組み

土佐くろしお鉄道では開業以来、お客さまにお楽しみいただけるさまざまな取り組みや貸切列車の運行などを行っています。

2009（平成21）年

土佐くろしお鉄道・高知西南交通バス サポーターズクラブの発足

このクラブは、土佐くろしお鉄道と高知西南交通を応援して下さる方に会員となつていただき、両社の支援や利用の促進につながる活動をしています。



▲列車とバスのイラストがかわいいサポーターズクラブの会員証



サイクルトレイン

往路は列車で移動、復路はサイクリングを満喫します。また、定期便の普通列車では自転車をそのまま積み込むことができる「とさくろサイクリング」や「輪行バッグ無料レンタルサービス」を実施しています。



▲自転車を積み込んだ車内

イベント列車の運行

毎年「花火鑑賞列車」「どぶろく列車」「カクテル列車」「サイクルトレイン」などのイベント列車を企画し運行しています。



▲四万十市の花火大会に合わせ運行、四万十川橋梁上に列車を停止させ、河川敷から打ちあがる花火を楽しむことができます。

2012（平成24）年

すべらない砂

受験生の合格を願い、列車の空転を防ぐためにレールにまく「滑り止めの砂」を、四万十市の一条神社で祈禱していただき、小瓶に詰め販売開始しました。



▲合格祈願。小瓶につめられた「すべらない砂」



▶車内では、オリジナルカクテルも振舞われ、量を数くこともできるので、ゆったりと楽しんでいただけます。



企画きっぷの発売

普通列車が土日祝日に限り500円で1日自由に乗り降りできる「土佐くろしおおでかけきっぷ」や65歳以上を対象としたお得な1ヶ月定期「土佐くろしおシニアパス」などの企画きっぷを発売し利用促進を図っています。



▲土佐くろしおおでかけきっぷと土佐くろしおシニアパス

安全・安心輸送への取り組み

土佐くろしお鉄道では、安全・安心輸送の実現のため、事故防止への様々な取り組みを実施しています。また自然災害に対しても、安全を確保したうえで早期現地調査を実施。地域の交通を守っています。

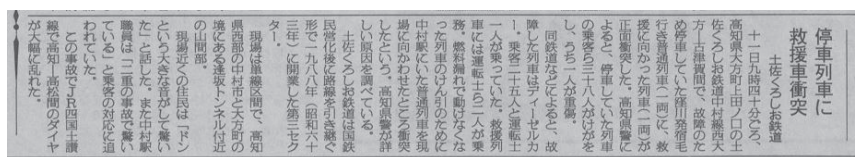
事故防止の取り組み

1998（平成10）年6月11日

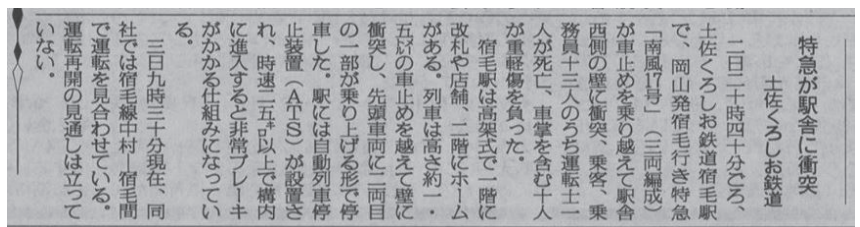
窪川発中村行きの普通列車が、西大方～古津賀間でエンジン故障のため停車。中村駅から救援のため出発した救援列車が、停車中の故障列車に衝突。38名のお客さまが負傷されました。

2005（平成17）年3月2日

岡山発宿毛行きの特急南風17号が、宿毛駅の車止めを乗り越え駅舎に衝突、車両が大破し、お客さま10名が負傷、運転士が亡くなり、車掌1名も負傷しました。



交通新聞1998（平成10）年6月12日付



交通新聞2005（平成17）年3月4日付

自然災害への取り組み

2003（平成15）年12月8日

大雨の影響により、中村線荷稻～伊与喜間で土砂崩壊が発生、このため窪川～宿毛間でバス代行輸送を実施しました。



荷稻～伊与喜間で発生した土砂崩壊の様子

両事故を教訓に、毎年6月11日を「土佐くろしお鉄道 事故防止の日」、3月2日を「土佐くろしお鉄道 安全の日」と定めています。毎年事故防止及び災害防止に関連した訓練などを実施することで、社員の安全意識向上を図っています。



土佐くろしお鉄道概要図



土佐くろしお鉄道株式会社